

東日本大震災 岐阜民医連支援ニュース

現地の仲間・住民と連帯し、こころ一つに困難を乗り越えましょう！

NO. 2

2011. 3. 16

岐阜民医連支援対策本部

第1次 医療支援隊 出発

昨日 15 日、第一次の医療支援隊が多くの職員・地域の方々が見守る中、坂総合病院をめざして出発しました。壮行会には、100 名を超える職員・地域の方々が参加し、余震や原発災害、雪など危険を伴う支援ですが、安全第一に頑張してほしいと激励しました。



支援隊は、昨夜新潟県の長岡で宿泊し、本日宮城入りする予定です。心配された、原発事故の方も、全日本民医連が専門家を交えて検討した結果、現時点での安全性が確認できたため、待機指示が解除されました。

義捐金続々と寄せられる！

みどり病院では、管理委員会からの訴えに職員から 20 万円余

義捐金の呼びかけに、各事業所から義捐金が次々と寄せられています。みどり病院では、朝の出勤時に管理委員会が募金箱を持ち義捐金の呼びかけを行い、短時間で 20 万円を超える募金が寄せられました。また、午後から行われた岐阜駅前での介護の宣伝行動でも 4 万円を超える募金が寄せられました。

労組からは明日 17 日に予定されていたストライキを中止し、労使共同で街頭宣伝の呼びかけがあり、積極的に応えていくことになりました。

3月17日 14時～15時 名鉄新岐阜駅前

※昨日の壮行会の模様は、16日付中日新聞で紹介されました。裏面に掲載していますのでご覧ください。